

## 「感震ブレーカーの設置」に関するアンケート調査

### 1 調査目的

静岡市では、感震ブレーカーを設置する世帯に対して設置費用の一部を補助しています。

電気火災や感震ブレーカーについて市民の皆さんの認知度や認識を把握し、今後の事業の促進や広報活動の参考とさせていただくため、市政アンケートモニター調査を実施しました。

### 2 調査対象

市政アンケートモニターとして委嘱した市内在住の男女150人

### 3 回収件数

145件(回収率 約97%)

### 4 調査方法

インターネットによるアンケート調査

### 5 調査期間

令和2年9月25日(金)～10月2日(金)

### 6 担当課

危機管理課

### 7 回答者の属性

(1)年代・性別

(人)

	男性	女性	計
10代(18歳以上)	0	1	1
20代	3	10	13
30代	7	21	28
40代	7	32	39
50代	6	28	34
60代	9	9	18
70代以上	11	1	12
総計	43	102	145

(2)居住区

(人)

区	人数
葵区	67
駿河区	52
清水区	26
総計	145

## 8 調査結果・概要

問1 地震による停電状態から電気が復旧した際、倒れたままの電気製品が再び作動したり、地震で損傷した電気コードがショートしたりすること等により着火しておこる「電気火災」を知っていますか。

「知っている」と回答した割合は59.3%(86人)と最も多く、次いで「聞いたことがある」が31.0%(45人)、「知らない」が9.7%(14人)であった。

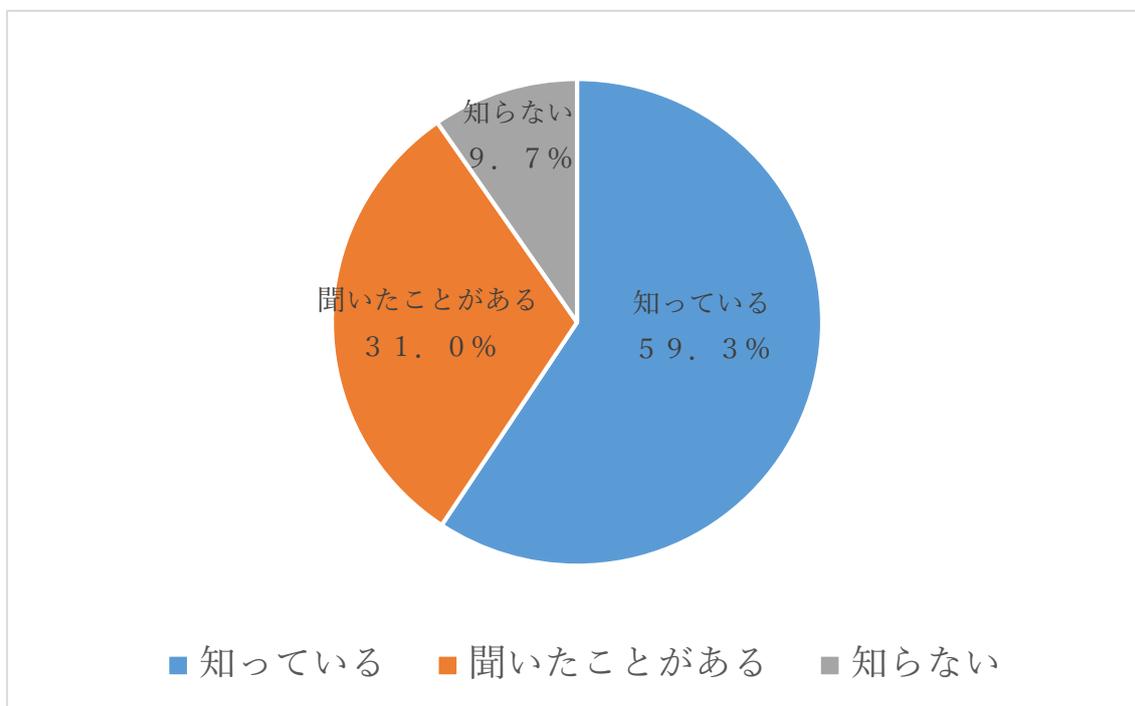


表1 電気火災認知度(グラフ)

項目	回答数(人)	有効回答者数に占める割合(%)
知っている	86	59.3%
聞いたことがある	45	31.0%
知らない	14	9.7%
有効回答者数	145	100.0%

表2 電気火災認知度(集計結果)

問2-1 あなたは、「感震ブレーカー」を知っていますか。

「知らない」と回答した割合は52.1%(75人)と最も多く、次いで「知っている」が25.7%(37人)、「聞いたことがある」が22.2%(32人)であった。

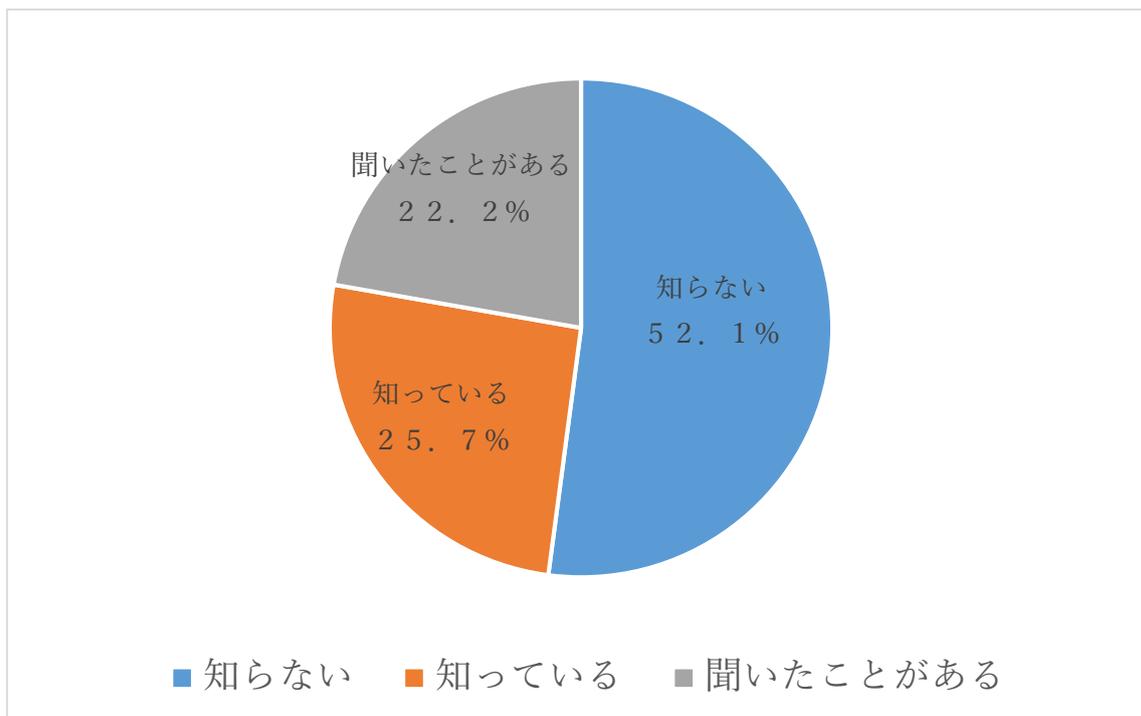


表3 感震ブレーカー認知度(グラフ)

項目	回答数(人)	有効回答者数に占める割合 (%)
知らない	75	52.1%
知っている	37	25.7%
聞いたことがある	32	22.2%
有効回答者数	144	100.0%

表4 感震ブレーカー認知度(集計結果)

問2-2 問2-1で「知っている」「聞いたことがある」と答えた方に伺います。  
 どこで情報を得ましたか。(複数回答可)

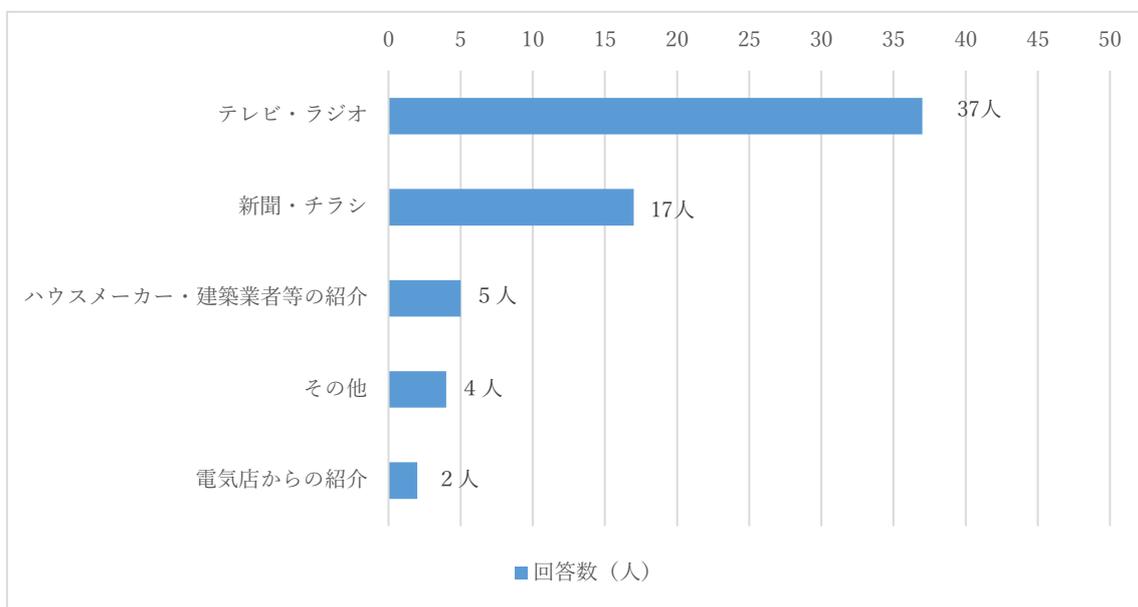


表5 情報の取得手段(グラフ)

項目	回答数(人)	有効回答者数に占める割合 (%)
テレビ・ラジオ	37	56.9%
新聞・チラシ	17	26.2%
ハウスメーカー・建築業者等の紹介	5	7.7%
その他	4	6.1%
電気店からの紹介	2	3.1%
有効回答者数	65	100.0%

表6 情報の取得手段(集計結果)

【その他の意見】

- ・ 配電盤の横にブレーカーは設置されているが、それが感震ブレーカーかどうかは不明。  
 新築時設置されているものから変更はないが、漏電検針時も具体的説明等があった認識は無い。(50代女性)
- ・ 感震ブレーカーについてはテレビの番組等で紹介があったと認識している。  
 メーカーに勤めていたことがあるため知っていた(30代女性)
- ・ 町内会の回覧(70代女性)
- ・ インターネット(30代女性)

問3-1 あなたは、自宅に「感震ブレーカー」を設置していますか？

「設置していない」と回答した割合は95.9%(139人)、「設置している」は4.1%(6人)であった。

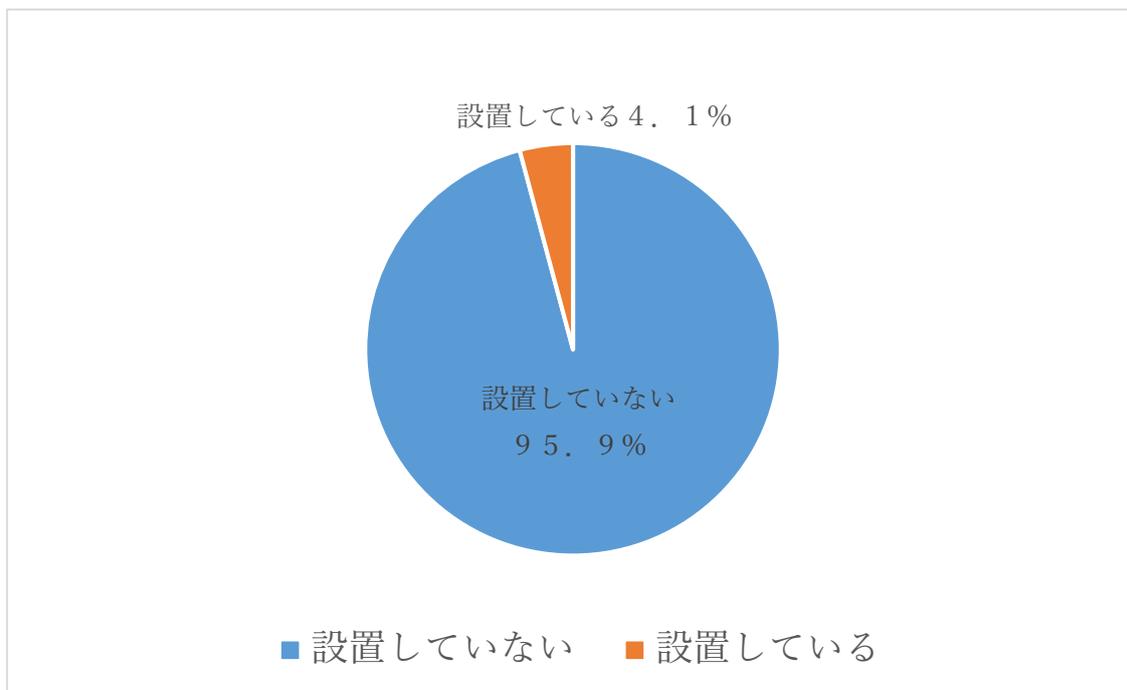


表7 感震ブレーカーの設置割合(グラフ)

項目	回答者数(人)	有効回答者数に占める割合(%)
設置していない	139	95.9%
設置している	6	4.1%
有効回答者数	145	100.0%

表8 感震ブレーカー設置割合(集計結果)

問3-2 問3-1で設置していると答えた方にお聞きします。  
市の補助金制度を活用して設置しましたか。

感震ブレイカーを「設置している」と回答した方のうち、補助金を活用して設置した人は16.7%(1人)、活用しなかった人は83.3%(5人)であった。

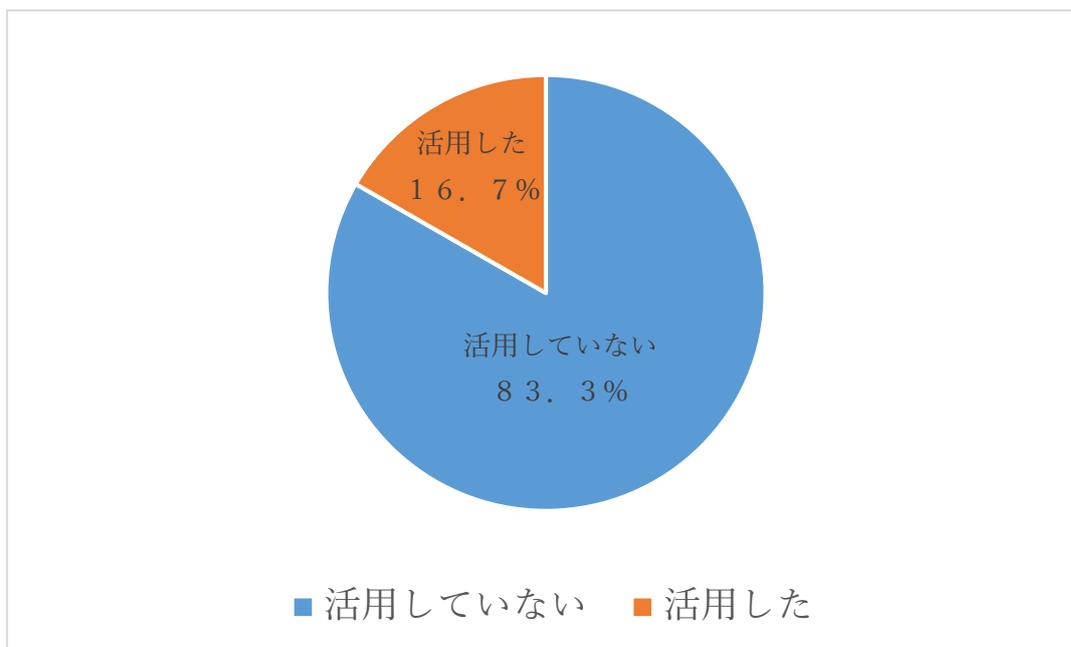


表9 補助金活用状況(グラフ)

項目	回答者数(人)	有効回答者数に占める割合(%)
活用していない	5	83.3%
活用した	1	16.7%
有効回答者数	6	100.0%

表10 補助金活用状況(集計結果)

問3-3 市の補助金制度を活用した場合、どこで情報を得ましたか。(複数回答可)

項目	回答数	有効回答者数に占める割合(%)
広報紙・静岡市HP・市政出前講座での案内	1	100.0%

表11 情報の取得手段(集計結果)

問3-4 補助金を活用していない場合、その理由を教えてください。

「補助金の制度があることを知らなかった」と回答した割合は60.0%(3人)、次いで「家を建てた際に既に設置されていた」が40.0%(2人)であった。

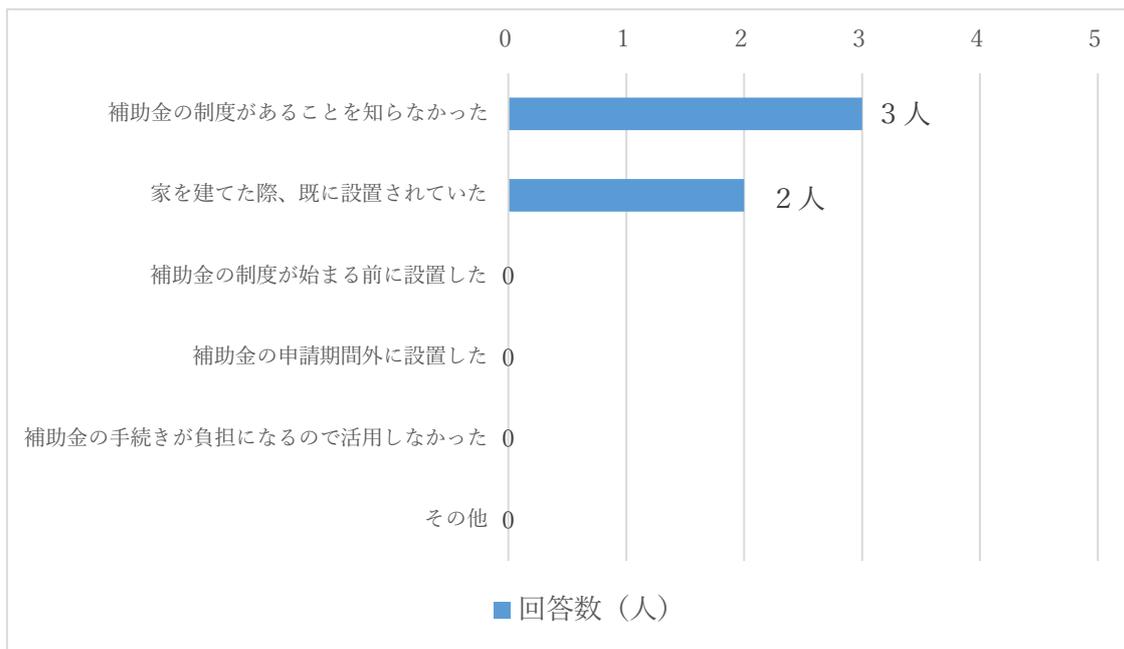


表 12 補助金を活用しなかった理由(グラフ)

項目	回答数	有効回答者数に占める割合(%)
補助金の制度があることを知らなかった	3	60.0%
家を建てた際に既に設置されていた	2	40.0%
補助金の制度が始まる前に設置した	0	—
補助金の申請期間外に設置した	0	—
補助金の手続きが負担になるので活用しなかった	0	—
その他	0	—
有効回答者数	5	100.0%

表 13 補助金を活用しなかった理由(集計結果)

問3-5 問3-1で「設置していない」と答えた方にお聞きます。

静岡市が、感震ブレーカーの設置費用の一部を補助していることを知っていましたか。

「感震ブレーカーを設置していない」と回答した方のうち、「補助金制度があることを知らなかった」と回答した割合は91.7%(121人)、「知っていた」が8.3%(11人)であった。

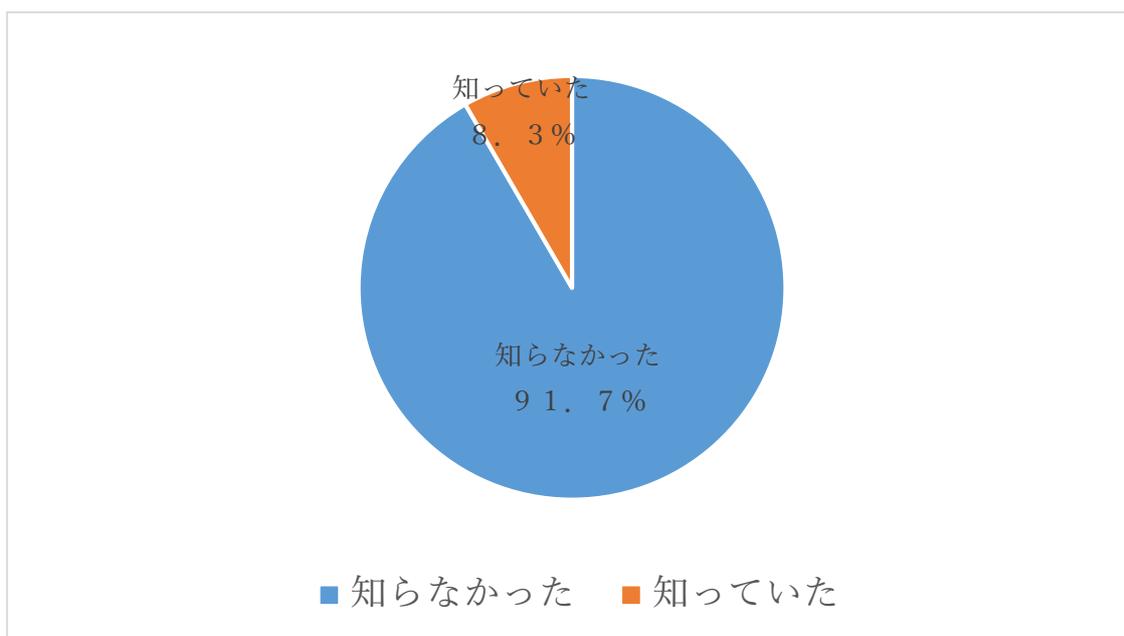


表 14 補助金活用状況(グラフ)

項目	回答者数(人)	有効回答者数に占める割合(%)
知らなかった	121	91.7%
知っていた	11	8.3%
有効回答者数	132	100.0%

表 15 補助金活用状況(集計結果)

問3-6 問3-1で「設置していない」と答えた方にお聞きします。

今後、市の補助金を利用して感震ブレーカーを設置したいと思いますか。

「検討したい」と回答した割合は66.9%(91人)と最も多く、次いで「設置したい」が16.9%(23人)であった。

また、「設置したいと思わない」と回答した割合は16.2%(22人)であった。

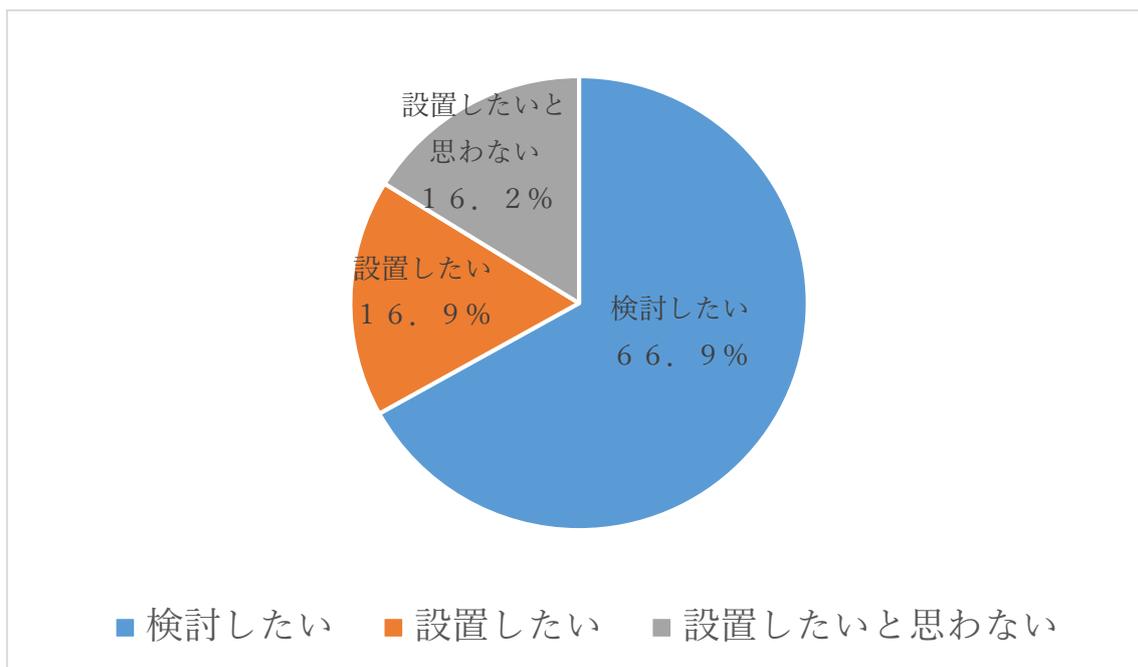


表 16 補助金を利用しての設置(グラフ)

項目	回答者数(人)	有効回答者数に占める割合(%)
検討したい	91	66.9%
設置したい	23	16.9%
設置したいと思わない	22	16.2%
有効回答者数	136	100.0%

表 17 補助金を利用しての設置(集計結果)

問3-7 問3-6で「設置したいと思わない」と答えた方にお聞きします。  
理由を教えてください。(複数回答可)

「必要性を感じない」と回答した割合は38.4%(5人)、「金額が高額だから」、「賃貸で大家さんの許可がないと設置できないから」が23.1%(3人)であった。

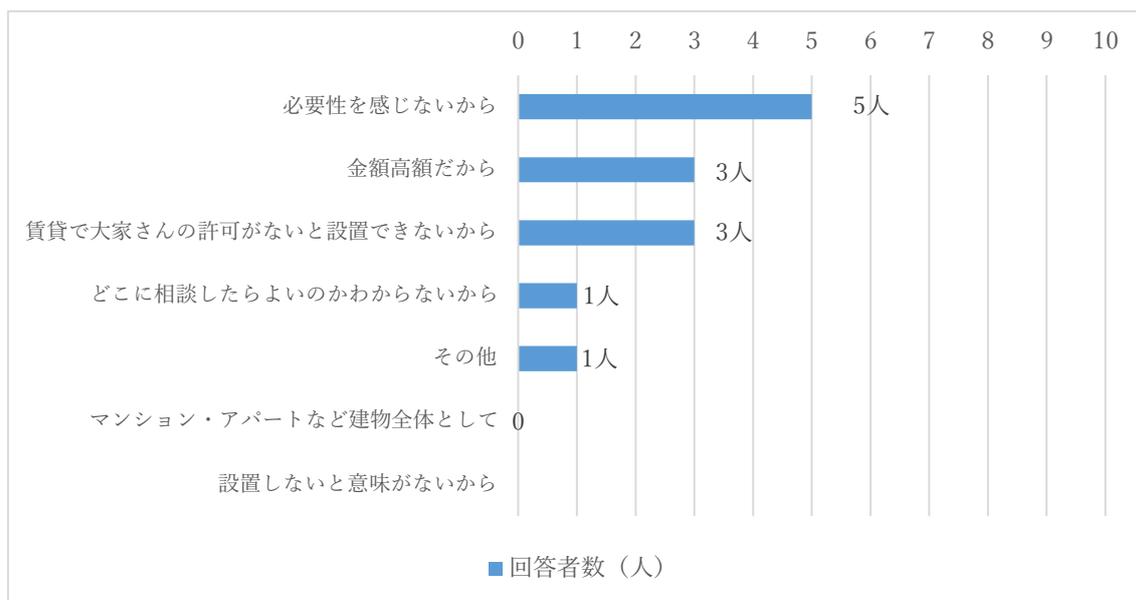


表 18 設置しない理由(グラフ)

項目	回答者数	有効回答者数に占める割合(%)
必要性を感じないから	5	38.4%
金額高額だから	3	23.1%
賃貸で大家さんの許可がないと設置できないから	3	23.1%
どこに相談したらよいかわからないから	1	7.7%
その他	1	7.7%
マンション・アパートなど建物全体として 設置しないと意味がないから	0	—
有効回答者数	13	100.0%

表 19 設置しない理由(集計結果)

【その他の意見】

- ・設置手続きが面倒だと思う。ブレーカーを落とす事を忘れないように覚えておくようにしたい。

問4 あなたは、火災を防ぐために、感震ブレーカーの設置以外に、自宅にどのような備えをしていますか。

自宅の備えとして「火災報知器の設置」と回答した割合は68.3%(99人)と最も多く、次いで「消火器の設置」が13.1%(19人)、「特別な備えはしていない」が11.0%(16人)、「オール電化の整備」が7.6%(11人)であった。

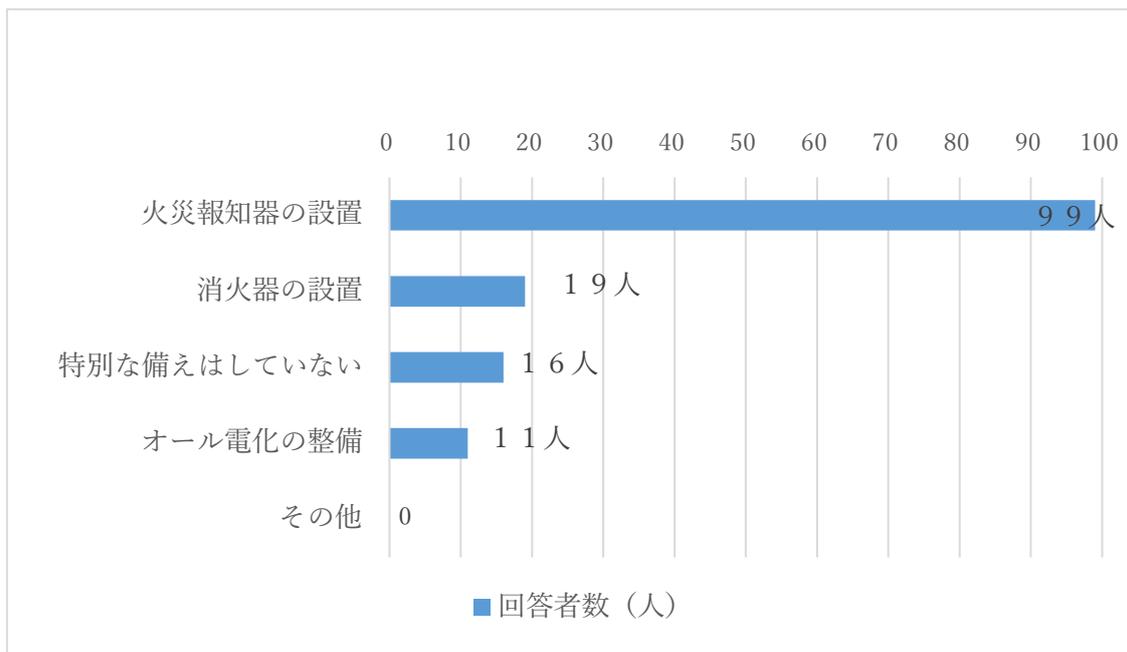


表 20 自宅の備え(グラフ)

項目	回答者数	有効回答者数に占める割合(%)
火災報知器の設置	99	68.3%
消火器の設置	19	13.1%
特別な備えはしていない	16	11.0%
オール電化の整備	11	7.6%
その他	0	—
有効回答者数	145	100.0%

表 21 自宅の備え(集計結果)

問5 あなたは、市の情報を得るときに、よく利用する媒体は何ですか。

「広報紙・静岡市ホームページ・市政出前講座での案内」と回答した割合は91.7% (133人)と最も多く、次いで「新聞・フリーペーパー」が2.7%(4人)、「自治会の組回覧」、「ライン・ツイッター・インスタグラムなどのSNS」が2.1%(3人)であった。また、「市の窓口案内表示」、「テレビ・ラジオ」は0.7%(1人)であった。

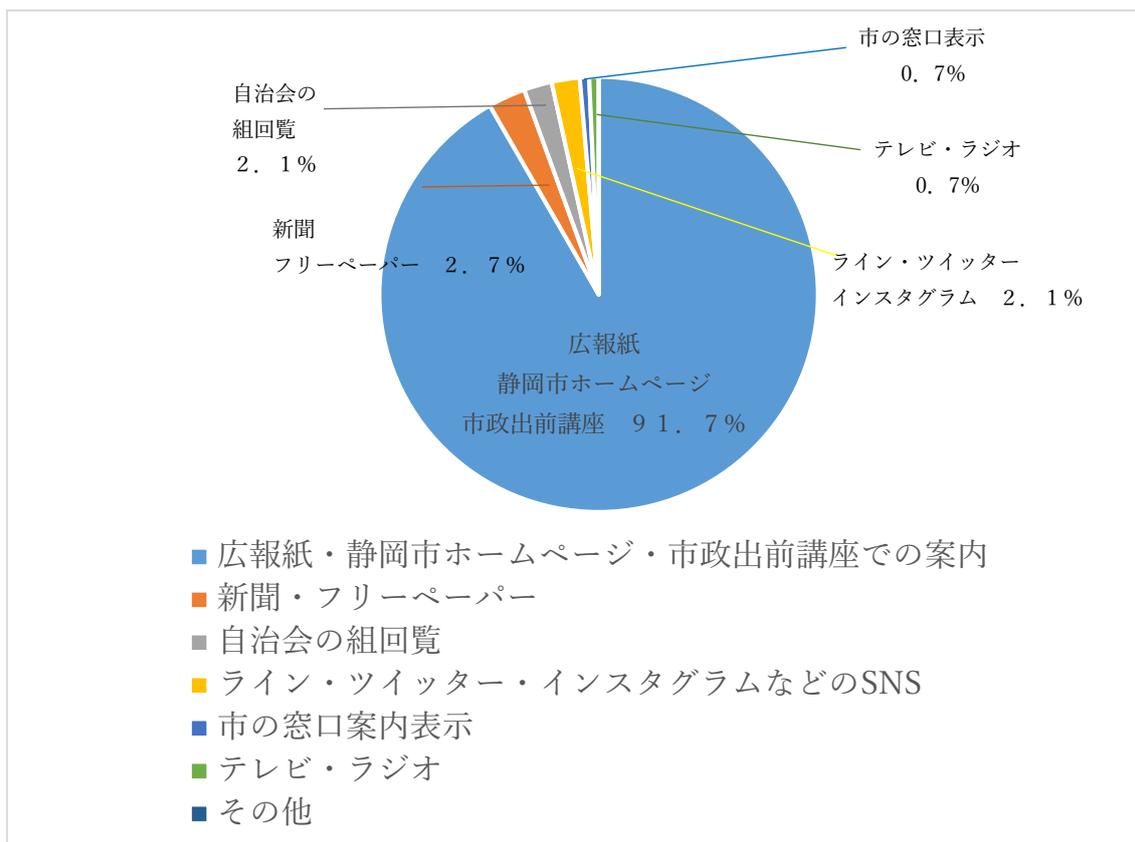


表 22 情報を得るため利用する媒体(グラフ)

項目	回答者数	有効回答者数に占める割合 (%)
広報紙・静岡市ホームページ・市政出前講座での案内	133	91.7%
新聞・フリーペーパー	4	2.7%
自治会の組回覧	3	2.1%
ライン・ツイッター・インスタグラムなどの SNS	3	2.1%
市の窓口案内表示	1	0.7%
テレビ・ラジオ	1	0.7%
その他	0	—
有効回答者数	145	100.0%

表 23 情報を得るため利用する媒体(集計結果)

問6 「感震ブレーカーの設置」について、ご意見等ございましたらご記入ください。

- ・ 助成して「広報しずおか」に定期的に掲載することが望ましい。(40代女性)
- ・ 電気店で売っている感震ブレーカー以外に、メカニズムが違う形式のものや、小型のものなど市で情報を流してもらえれば有難い。(70代以上男性)
- ・ 感震ブレーカーの設置について知らなかった。必要性などを詳しく知りたいのもっとPRしてほしい。(70代以上男性)
- ・ まずは、広報やテレビを活用しての周知が必要だと思う。(40代女性)
- ・ 新築時に説明を受けていれば設置を考えたと思う。建築会社への周知は必要。(60代男性)
- ・ 一般家庭に感震ブレーカーの設置について周知したいなら、広報しずおかが一番効果的だと思う。また、予算があればテレビCMもよいと思う。(40代男性)
- ・ 将来的には設置を義務付けたほうが良いと思う。市のホームページは積極的に見ないと情報を得られない。最近ではテレビを観ない人も多いので、テレビを含め広報紙などでも大々的に紹介してほしい。(20代女性)
- ・ 感震ブレーカーは必ず必要なので新築は必須、これから設置する人には、まず市の補助金制度を告知すべきだと思う。(60代男性)
- ・ 火災報知器は当たり前のように設置されているが、感震ブレーカーはまだ認知度が低いので、もっと周知してほしい。(30代女性)
- ・ 広報紙で特集してほしい。(30代女性)
- ・ 自宅をハウスメーカーで新築した際、ブレーカーには感震装置が標準設置されていた。ハウスメーカーや工務店、住宅展示場などからも感震ブレーカーについての情報発信してもらえると周知しやすいと思う。(50代女性)
- ・ 新築はオプションではなく標準装備になるとよい。(30代女性)
- ・ 一人暮らしの大学生には設置のハードルになると感じた。大家に設置を義務付けさせるか、条件付きでよいので費用の全額補助をすれば普及率が向上すると思う。また、補助があることを知らなかったので、大学の避難訓練や住民票を移す際に発信すれば大学生の認知度も高まると思う。(20代女性)
- ・ 今回のアンケートを受けて、感震ブレーカーの様々な種類を知ることができた。導入を検討したい。このような防災の安全機器の住宅への設置を義務付けるなど、さらに防災の意識が高まるような政策に期待する。(50代男性)
- ・ 感震ブレーカーの装置は、地震の二次災害を防止する観点からも必要だと思う。設置を検討したい。(70代以上男性)
- ・ 補助金は、自己負担が多く、強制力が薄いと思う。(30代女性)
- ・ 地震の二次被害を防ぐための手立てを考える機会になった。(50代女性)
- ・ 感震ブレーカーについて初めて知ったが、賃貸住宅に住んでいるため自分では変更できな

い状況。(40代男性)

- ・ 感震ブレーカーの存在や補助金制度を認識していない人がたくさんいると思う。認知してもらえようにもっと広く伝えていくべき。命と共に、生活基盤を守るために。(50代女性)
- ・ 持ち家でなく、日中留守が多い独身者には特に馴染みの無いことだと思う。そういった人向けの制度や、その説明が有ればありがたい。(30代女性)
- ・ 必要なことは承知しているが、費用の捻出が困難。(70代以上男性)
- ・ 簡単にできるのであれば欲しい。しかし電気屋自体、どこに頼めばいいか分からない。気軽に見積も頼めない。安心して設置してくれる良心的な電気屋を知りたい。(40代女性)
- ・ 耐震機器設置に際しての補助制度はこれからも推進してほしい。(70代以上)
- ・ ボール状のものが地震で落ちるとその重みでブレーカーが落ちる簡易で安いものがあるとテレビで見たことがある。市も安いものをオプションで提供したらどうか。(20代男性)
- ・ 重要な事は郵送で発信した方が良い。これだけ経済的に厳しくなってくれば、助成金がでも設置は難しいだろう。感震ブレーカー設置は無料化すべきだと思う。(50代女性)
- ・ 自分の家やマンションの部屋から火事を出さないことはできても、近所からの延焼は防げない。全戸で設置してしなければ意味がない。(40代女性)
- ・ 地震による火災の出火原因になることを、市民に大々的に伝え、設置を促す活動をお願いしたい。地震が来る前に、少しでも被害を少なくしたいと思うが、具体的に何をどうすれば良いのかよく知らない。食料確保と避難袋の用意はあるが、いざという時に、何をすべきか、実はわからないのでとても怖い。(40代女性)
- ・ 備えはしているが、改めて意識するきっかけになった。(50代女性)
- ・ お宅によっても違うと思うので、補助以外に自己負担額の目安がわかると検討しやすい。(60代女性)
- ・ 静岡県全体予算で、県、市共同で設置を義務化してほしい。(60代男性)
- ・ 設置して安全性がどこまで上がるのか不明である。(30代男性)
- ・ マンションで感震ブレーカーを設置した具体例があれば教えて欲しい。(50代女性)
- ・ 電力会社が全面的に費用負担して設置してもいいと思う。電気料金が少し上がっても、火事になるよりはいいと思う。(40代女性)
- ・ 倒れそうな借家などに設置してほしい。(40代女性)
- ・ 感震ブレーカーのことや補助金のことを知らなかったなので、同居している家族にも話して相談したいと思った。(40代女性)
- ・ 自分の家だけでなく、全世帯設置しなければ、火災のリスクはおさえられないと思った。(30代女性)
- ・ 地震の怖さは理解しているつもりだが、地震から家事になる家事の怖さは考えてなかった。感震ブレーカーは存在も知らなかったなので調べてみようと思う。(30代男性)

## ◆ 所 感 ◆

・「電気火災」について知っている・聞いたことがあるという方は多いが、「感震ブレーカー」については、まだまだ認知度が低いことがわかった。

静岡市が「感震ブレーカーの設置費用の一部を補助している」ことを知らない方が多く、感震ブレーカーの必要性、補助金について広く周知してほしいとの意見が多かったため、今後も定期的に市民へ周知していくことが大切であると感じた。

・市の情報の取得手段として、広報紙・静岡市ホームページを通じて取得している方が多く、今後の広報の仕方についても、広報紙の掲載を中心とした周知活動を行っていきたい。また、テレビ・ラジオを使つての周知についても、今後検討していきたい。

・ハウスメーカー・工務店・住宅展示場など建築会社へ「静岡市感震ブレーカー設置事業補助金」について周知し、新しく家を建てた際に建築会社から市民へ補助金の案内をしてほしいとの意見もあった。

静岡大工建築業協同組合を通じて、組合に加入している工務店などに、新しく家を建てる市民には補助金の案内をしていただくよう、今後お願いしていきたい。

・設置の必要性は感じているが費用がかかるので、全額負担してほしいとの意見に加えて、設置を義務化したらどうかとの意見も多くあげられた。

・広報紙や組回覧、市ホームページを活用した広報活動も実施しているものの、依然として感震ブレーカーの認知度が低いままであるが、今回のアンケートをうけたことにより感震ブレーカーについて知ったという市民が多く、詳しく調べてから補助金を利用して設置を検討したいとの意見が多かった。

今回の調査では、「通電火災」や「感震ブレーカー」に関心のある方が多くいることが確認できたため、「市の補助金」について詳しく広報し、市民に知っていただければ、感震ブレーカーの設置を検討し、実際に設置してもらえることにつながっていくと考える。

今回の結果を参考に、感震ブレーカーについて、広く市民に周知し、補助金を利用した設置につながるよう、新たな広報の仕方について検討していきたい。